

第5回 反植民地主義フォーラム in 北海道

響きあうパレスチナとアイヌ

- 入植植民地国家の不正義を問い直す -



予 告

信州松本からパレスチナ ZOOM 学習会

7月19日(土)午後1:30~4:50
エルプラザ2F 環境研修室 参加費200円
報告:パレスチナチーム札幌
(市民な風・パレスチナ連帯スタンディングチーム)
Free Gaza 北杜/本読みデモ松本/ BDS グループ大津
講師:永原陽子 & 下村由一
モ松本/ BDS グループ大津
講師:永原陽子 & 下村由一
主催:信州イスラーム世界勉強会

日 時

2025年7月12日(土) 14:00~18:00 開場 13:30

会 場

札幌市教育文化会館 305 研修室 (中央区北1西13)

参加費

500 円

→ プログラムは裏面をご覧ください



主 催: パレスチナ連帯・札幌

連絡先: 松元保昭 Tel 09095163750

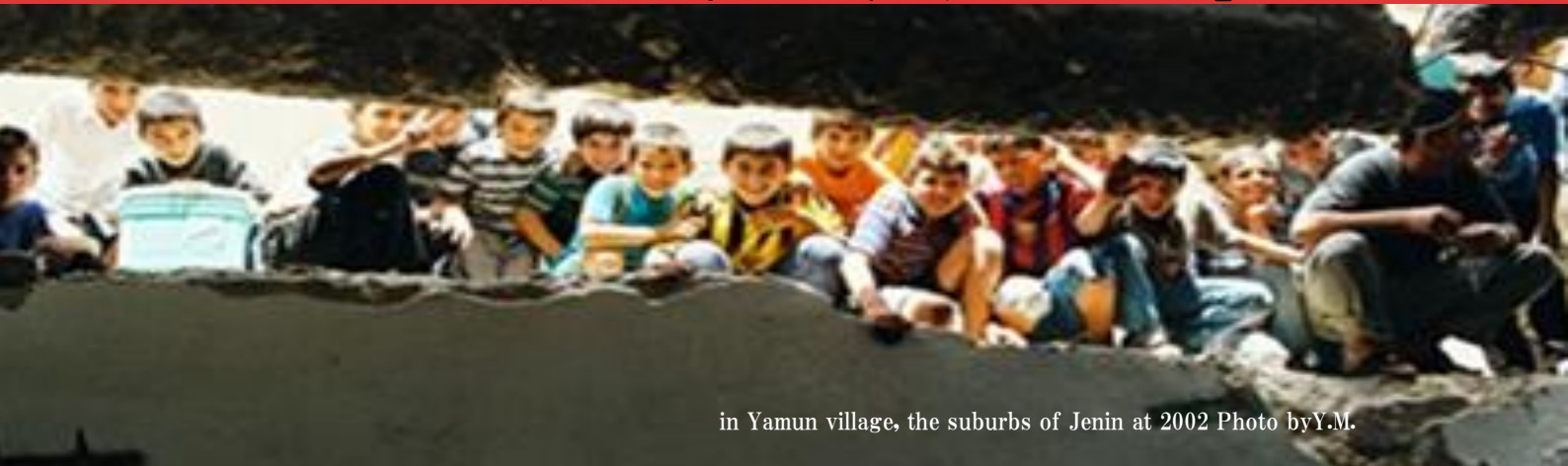


第一部 暴虐イスラエルの入植植民地支配を延命させるその仕掛け

講演：『改米中心の世界秩序が総崩れの今、
その植民地主義を人類はどう始末つけられるか？
焦点となったパレスチナ人そしてユダヤ人の動き。
また元祖日本の植民地主義の末路について』



講師 板垣雄三



in Yamun village, the suburbs of Jenin at 2002 Photo by Y.M.

第二部 ①先住民族アイヌの声が紡ぎ彫り出す未来のかたち



知里幸恵

問題提起者 木村二三夫「アイヌ・ネノアン・アイヌの未来」
多原良子「マイノリティ・アイヌ女性の複合差別」
石井ポンペ「和人と一緒にやってきたこと」
阿部ユポ「アイヌ民族の自己決定権を阻んできたもの」



遼星北斗

②琉球民族・在日コリアンの未来を描く

とらなち隆子「戦場の暴力と教室の暴力」
チョウキム・シガン「在日差別を根絶するためには？」

第三部 総合討論：和人社会と日本国家を問い糺す

提言：成田得平「アイヌ民族から問いただす和人社会と日本国」

《登壇者紹介》

板垣雄三：1931年生まれ。文化功労者・東京大学名誉教授・東京経済大学名誉教授・元日本学術会議第一部長(18期)
元日本中東学会会長・元日本イスラム協会理事長・信州イスラム世界勉強会顧問

花崎阜平：1931年生れ。思索家・著述業

阿部ユポ：1946年生れ。札幌アイヌ協会会長

石井ポンペ：1945年生れ。原住アイヌ民族の権利を取り戻すウコチャランケの会代表

木村二三夫：1948年生れ。平取アイヌ遺骨を考える会共同代表

多原良子：1953年生れ。メノコモシモン代表

とらなち隆子：1950年生れ。沖縄の基地を考える会・札幌 代表

チョウキム・シガン

曹金時江：1949年生れ。日本軍「慰安婦」問題の解決をめざす北海道の会共同代表

成田得平：1943年生れ。ヤイユーカラ・アイヌ民族学会会長

東北アジア外周列島で、イスラエルの暴虐をふまえてアイヌ・琉球の先住民族と在日コリアンから和人社会を考え、7世紀からの植民地主義・人種主義・軍国主義とともに生まれた「日本国」の不正義を問い糺す。
(閉会后、交流会あります。)